

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県佐賀市 佐賀市立富士大和温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	9	-	ド透訓	救輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
234,758	8,392	第2種該当	10:1	

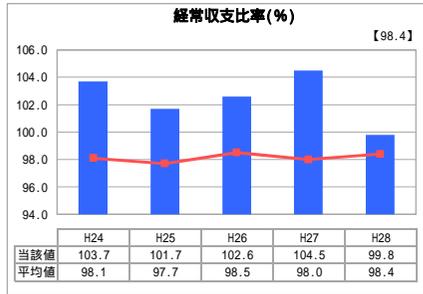
1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

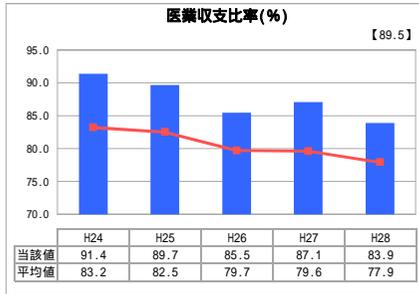
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
54	44	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	98
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
54	44	98

グラフ凡例
■ 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

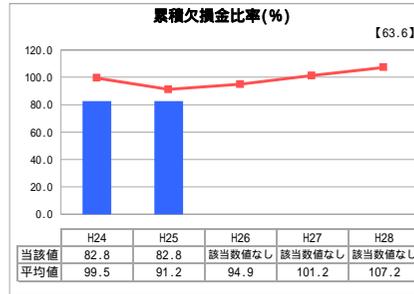
1. 経営の健全性・効率性



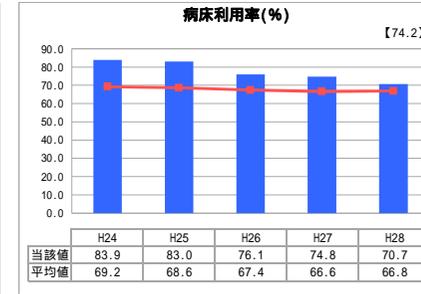
「経常損益」



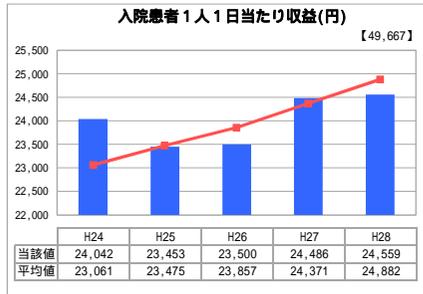
「医業損益」



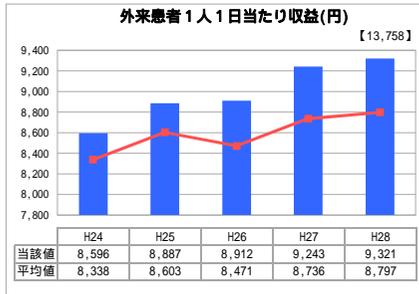
「累積欠損」



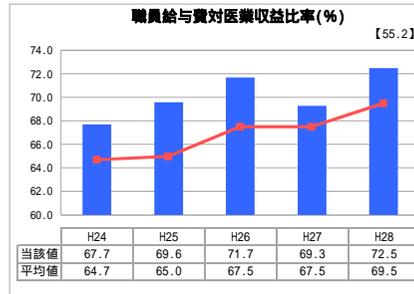
「施設の効率性」



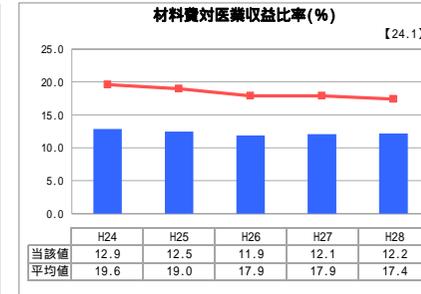
「収益の効率性」



「収益の効率性」

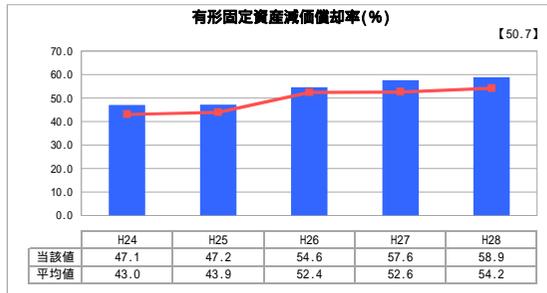


「費用の効率性」

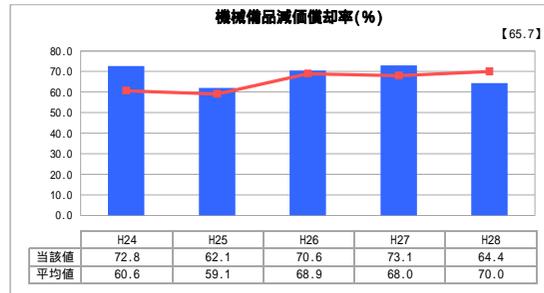


「費用の効率性」

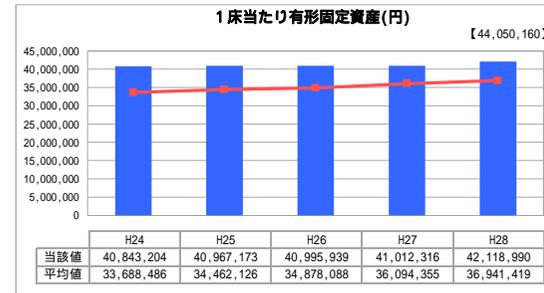
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

地域において担っている役割

不採算地区である過疎地において医療を提供するとともに、救急告示病院及び病院群輪番制病院として近隣地域における休日・夜間等の救急医療の機能維持を担っている。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は直近5ヵ年において類似病院平均以上を維持しているが、平成28年度は10.0%以下となった。主な要因としては過疎化に伴う病床利用率の低下である。

健全性を確保するために、類似病院平均と比較して比率が高い職員給与費対医業収益比率を改善する必要がある。業務委託の推進や業務の効率化などを踏まえて人員配置の合理化に努める。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は概ね類似病院平均値と同程度であるが、機械備品減価償却率については平成28年度に大規模投資(電子カルテシステム導入)を実施したため数値が低下した。

全体総括

経営の健全性を確保するための対策として、病床利用率が低下している医療療養病床(看護人員配置基準 2.5:1)については「佐賀市立富士大和温泉病院改革プラン(平成30年度～平成32年度)」において機能改変を検討することとしている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。